

27～28年度 第1回 (一社)神奈川県建築士事務所協会 業務支援委員会 議事録			
開催日時	平成27年 7月 1日 (水)	会場	横浜市開港記念会館 1号室
出席者 (○)	○小林会長 担当副会長 ○福田 委員長 ○大和田 副委員長 ○根岸・×高橋康・×西倉・○渡部		
1. あいさつ 省略			
2. 議題			
(1) 委員会の進め方等について (基本方針と意思統一)			
<ul style="list-style-type: none"> ・業務支援委員会は、会員のための委員会であることを確認。 ・本日の合同委員会では、意思統一を図りたい。 ・各専門委員会 (部会含む) は、必ず横の繋がりを持ち、活動していくこととする。 ・各専門委員会 (部会含む) で、会員増強の目標設定を掲げて頂くこととする。 ・平成27～28年度での目標設定をし、達成することを確認。また、半期に一度、達成率を報告して頂くこととする。 ・マンション等の大規模修繕等業務専門委員会、構造専門委員会、景観・まちづくり専門委員会については、それぞれに目標を設定し、達成して頂く。 ・ワークショップを30分実施することとした。 			
(2) 技術専門委員会			
<ul style="list-style-type: none"> ・委員会規程を作成する。その中に、グリーン化事業を位置付ける。(部会内容も含む。) また、各部会の目的について検討し、下記とした。 			
①環境部会			
<ul style="list-style-type: none"> ・メンバー案を説明。 ・認定低炭素、ライフサイクル CO2 までの調査、研究等。 			
②施工技術部会			
<ul style="list-style-type: none"> ・メンバー案を説明。 ・スマートウェルネス住宅等推進、グリーン化事業、応急仮設住宅関係の調査、研究等並びに会員への情報発信。 ・兼業事務所へのPR、会員増強に期待。 			
③木造部会			
<ul style="list-style-type: none"> ・メンバー案を説明。 ・木造専門委員会が行っていた内容ではないことを確認。 ・ストック型住宅のビジネスモデルの構築等の調査、研究等。(宅建業協会等、不動産業界との連携) 			
(3) 「住・緑・家」運営専門委員会			
<ul style="list-style-type: none"> ・部会を3つ (講評部会、運営部会、渉外部会) 設置することが確認された。 ・システムの更なる充実、普及のためのPRが必要。 ・委員会全体、各部会でそれぞれ目標設定をして頂くこととした。 			
(4) その他			
<ul style="list-style-type: none"> ・合同委員会の司会は、渡部副委員長、議題の進行を福田副会長、説明者を大和田委員長とした。 			

27～28年度 業務支援委員会・各専門委員会（部会含む）合同委員会 議事録			
開催日時	平成27年 7月 1日（水）	会場	横浜市開港記念会館 1号室
出席者 （○）	○小林会長 担当副会長 ○福田 委員長 ○大和田 副委員長 ○根岸・×高橋康・×西倉・○渡部 （景観委員） ×小澤・×平山・×山口・×須山・×小島・×大沢・×岡崎・×三橋要・×花田 ○寺本 （「住・緑・家」委員） ×柳川・×中尾・×上原・×矢澤・×山本・○小幡・×新村・○杉本 ○長谷川 （マンション委員） ○佐藤・○永島・×鈴木・×島村・×粕谷・○菅家・×松井 （技術委員） ×堀池・○伊藤・×志村・○岩田・○寺坂・×高野・×内田・○中原・×石関 ○青木・×相馬・×神永・○水田・○神田・○磯・○高橋・○三橋 （構造委員） ×池谷・×古室・○後藤・×浦・○會澤・×小松・×山上		
1. あいさつ	会長・副会長より 業務支援委員会は、会員のために大事な組織である。		
2. 業務支援委員会委員（理事）自己紹介			
3. 議 題			
(1) 委員会の進め方等について（基本方針と意思統一）	<ul style="list-style-type: none"> ・組織図について説明。積極的な出席協力をお願いした。 <p>①委員会基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務支援委員会は、5つの専門委員会（部会含む）で構成されていることを説明。 ・業務支援委員会の業務について、定款施行細則第15条第1項第2号を読み上げ、確認された。 ・後ほど専門委員会ごとにワークショップを実施し、正副委員長の選出を頂くと共に平成27～28年度の目標設定をし、発表頂くこととした。 この目標に沿って事業を展開して頂き、半期に一度、達成率を報告して頂くこととした。 ・各専門委員会は、横の繋がりを持つことが大事なので、密に連絡を取ることにした。 ・委員会等運営における基本的考え方（会長発信文書）について、読み上げ、確認された。 委員会開催については、目標達成のための活動を重視して頂きたい。 副会長の出席については、必要があれば要請して頂きたい。 統括委員長会については、予算作成時には、各委員長、担当理事に出席して頂く場合がある。 <p>②技術専門委員会の運用について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会規程を作成する。その中に、グリーン化事業を位置付ける。（部会内容も含む。） ・各部会の役割、設置目的等を説明。 <p>③部会の内規について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術専門委員会（環境部会・施工技術部会・木造部会）運用内規について、読み上げ、確認された。 ・部会委員になる場合は、技術専門委員長、担当副会長、理事会へ報告する。 <p>④その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各委員会活動については、各支部で報告して欲しい。 		
(2) 各専門委員会・各部会の正副委員長等の選出	<ul style="list-style-type: none"> ・各専門委員会に分かれて、ワークショップを30分実施し、正副委員長の選出（出来れば）、平成27～28年度の目標設定をして頂き、報告して頂くこととした。 <p>（「住・緑・家」運営専門委員会 目標等）</p>		

- ・自治会館4件受注の目標を設定。そのためのPR方法や行政への説明等を密に実施していく。
- ・施工者選定システムの構築（会員兼業事務所向け）
- ・会員へのPRを含め、ホームページの充実
- ・プレゼンスキルアップ研修会を実施し、非会員へも参加を呼び掛け、会員増強を目指す。
- ・各種イベントへ参加し、PR活動を実施する。

（マンション等大規模修繕業務専門委員会 目標等）

- ・委員長：永島、副委員長：鈴木
- ・年2回実施している必須研修会の充実。内容としては、建替え（景観・まちづくり専門委員会との連携）、耐震関係（構造専門委員会との連携）、省エネ関係（技術専門委員会との連携）に特化して実施していく。
- また、魅力ある内容とし、非会員へも参加を呼び掛け、会員増強を目指す。

（構造専門委員会 目標等）

- ・委員長：西倉
- ・沿道耐震関係の内容について、詳細に分かり易い研修を実施。また、出張サービス（市町村の方へ）相談会の実施。技術者のレベルアップ研修等、受け入れ態勢の強化及び構築。
- ・見学会の実施（メーカー等含む）。

（景観・まちづくり専門委員会 目標等）

- ・景観整備機構の指定を目指す。候補地：伊勢原市、湯河原町、相模原市
指定後は、受注拡大に努める。
- ・まち歩き（景観整備機構の指定が可能なところ）の実施。各エリアでの実施を目指す。
実績：湯河原町（千歳川と温泉旅館）
9/12（土） 相模原にて実施予定。11/5（土）伊勢原にて実施予定。
地元エリアの関係者（非会員）へもPRし、会員増強を目指す。
- ・応急仮設住宅の調査関係については、4年間の実績があり、継続していきたいので横の連携で実施する。

（技術専門委員会 環境部会）

- ・部会長：伊藤、副部会長：水田
- ・2020年省エネ法義務化に向けて、外皮計算から一次エネルギーまでの調査、研究等を実施・
- ・300㎡超の非住宅については、専門家へ依頼し、研修等を実施予定。

（技術専門委員会 施工技術部会）

- ・部会長：青木
- ・応急仮設住宅や施工管理のフレームをつくる予定。そのための情報収集し、1年以内に方向性を定める。メンバーを至急集めたい。
- ・兼業事務所を中心に勧誘し、会員増強を目指す。

（技術専門委員会 木造部会）

- ・部会長：寺坂
- ・木造非住宅の耐震
- ・限界耐力法関係の充実
- ・既存住宅活用（優遇制度等も含め）の内容検討。宅建業等との連携。

以上、概要説明があり、近々に専門委員会を開催し、文書にて技術専門委員長宛に提出頂くことを依頼した。

(3) 報告事項

①講習会、研修会等実施に係る基本的考え方について（総財務委員長発信文書）

- ・内容を読み上げ、確認された。

(4) その他

①建築物の耐震改修の促進に関する法律の改正に伴う現地相談業務の活用について

- ・活用をお願いした。

②建築士法改正に基づく、事務所登録等の業務の内容変更等について

- ・資料をもとに所属建築士の届出が必要であることについて注意喚起を行った。

③建築士法改正に基づく技術的助言について

- ・重要な内容となっておりますので、内容の確認をお願いした。

27～28年度 第2回 (一社)神奈川県建築士事務所協会 業務支援委員会 議事録			
開催日時	平成27年12月 1日 (火)	会場	横浜市技能文化会館多目的ホール
出席者 (○)	担当副会長 ○福田 委員長 ○大和田 副委員長 ○根岸・×高橋康・○西倉・○渡部		
<p>1. あいさつ 福田副会長より</p> <p>2. 各種報告 ①前回議事録の確認 ②その他</p> <p>3. 議 題</p> <p>(1) 合同会議開催運営についての確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各専門委員会からの事業および次年度予算の報告をして頂き、質疑を行う。 ・目標設定に対する進捗についても報告頂くこととした。 <p>(2) 業務支援委員会の予算について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議費 8,200円×3回=24,600円 ・全体会議費 85,000円×2回=170,000円 ・会場費 10,000円×2回=20,000円 合計 214,600円 <p>以上を計上することとした。</p> <p>(3) 「かながわe家」会について (地域型住宅グリーン化事業関係)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度までは、神事協内に任意のグループを作り運営をしていたが、本年度より神事協が事務局となりグループを構成。 実務的な内容が多い。(申請書類等のチェック、交付申請書類の作成等) 平成28年度より技術専門委員会の施工技術部会と木造部会で担当して頂くことを提案することとした。 <p>(4) 設立40周年記念事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設に向けた応急仮設住宅コンペ (仮称) を実施予定。 担当としては、技術専門委員会 (施工技術部会及び木造部会)、景観・まちづくり専門委員会、「住・緑・家」運営専門委員会) とした。 ・担当候補者：青木委員 (施工技術部)、神田委員 (木造部会)、寺本委員 (景まち)、長谷川委員及び杉本委員 («住・緑・家») とし、打診することとした。 <p>4. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし 			

- 各団体より1社ずつ推薦をもらい、複数社にてコンペを実施する等。
提出書類関係：財務内容（3年分）、所員の数、経験等となってきている。
・長期修繕計画作成支援ソフト開発については、費用の再精査を実施する。

⑤技術専門委員会

I. 環境部会（三橋部会員より）

- ・先日実施した省エネ講習の内容等について、支部長会へ報告することとした。
- ・目標の70%程度は達成した。
- ・28年度は、300㎡非住宅対象で実施予定。

II. 木造部会（寺坂部会長より）

- ・埼玉会の情報提供、一次インスペクション（住まいの定期診断）を3万円で実施。

III. 施工技術部会（青木部会長より）

- ・応急仮設住宅配置計画（例）作成について、報告書のまとめ作業1月中に実施予定。
- ・28年度の講習会テーマは未定。長期優良住宅関係、施工管理、品質管理等についても研究していく予定。

（2）要望・意見等

- ・横の繋がりが必要であるので、活発な意見交換等をお願いしたい。
- ・「住・緑・家」は、引き合いがない。（引き合いがくるような仕組みづくりや協力体制を構築したい。）
- ・応急仮設住宅は、専門家でなくても誰でもできるような木造工法や金物の開発が必要。
また、地域材で実施するには3m、4m材のストック方法等も検討事項。
- ・環境部会には、周辺の温熱環境についても研究してほしい。
- ・マンション関係の研修会を年2回開催している。次回のテーマは、「建物の長寿命化を図る」をテーマにする予定。コンクリートの中性化について等、構造専門委員会とコラボ出来ないか？（動員協力、講習アドバイス等）12/10構造専門委員会に永島委員長が出席予定。
- ・木造部会より、テーマにあったものについて、各委員会へ声をかけるので、対応頂きたい。
- ・施工技術部会より、応急仮設住宅配置計画（例）作成の後に何を実施すべきか？
研究事項、技術的なこと（職人の知恵も取り入れた）内容。長期優良も含む。

（3）その他

①マンション等大規模修繕業務対応事務所名簿について

- ・27年度に登録する際の登録料について（前回登録していたが・・・）
 - 相手の意思を確認しないと掲載できなかった。名簿の書き換え手数料を頂く予定。
 - 登録料はその都度とればよいのでは？
- ・義務（指定）講習会は、2回を1回に修正してほしい。

委員会にて検討する。

○会長あいさつ